

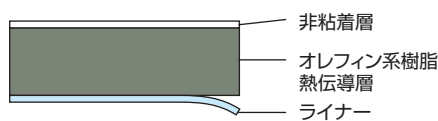
50℃で軟化し、密着性を高める「相変化」熱伝導シート

特長

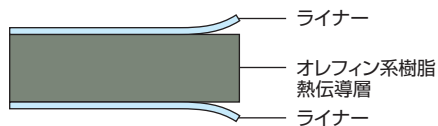
- 室温では固体のため取扱い性に優れます。
- 50℃で軟化し密着性が向上し、接触熱抵抗を小さくできます。
- CGDRは片面が非粘着処理をされているため、メンテナンスなどでの取り外しが容易です。
- 非シリコンタイプのため、シロキサンガスが発生しません。
- シリコンタイプと比較してオイルブリードが起きにくいいため、周辺部材に悪影響を与えにくくなります。

(保証値ではありません)

片面粘着タイプ / CGDR



両面粘着タイプ / CGD



試験項目	単位	規格	CGD	CGDR
熱伝導率	W/m・K	JIS R 2616 (熱線法)	2.0	2.0
色調	—	—	グレー	グレー
厚み	mm	—	0.25 / 0.5	0.15 / 0.25 / 0.5
体積抵抗率	$\Omega \cdot \text{cm}$	JIS K 6911 準拠	1.0×10^{14}	1.0×10^{14}
相変化温度	℃	—	50	50
使用温度範囲	℃	—	-20 ~ 100	-20 ~ 100
最大有効寸法 ^{※1}	mm	—	205×205	205×205

※1) 製品取り数については別途営業までお問い合わせ下さい。

※RoHS以外の環境調査は対応いたしかねる場合がございますので別途お問い合わせ願います